

要ス

六、攻撃遂行中一旦定メタル部署ヲ固執シ爲ニ不利ナル狀況ノ許ニ小部隊ヲ以テ正面戦闘ニ膠著シ戦局ヲ挽回シ得サルニ至ルコトナキニシモアラス此ノ如キ場合ニハ適當ニ之ヲ離脱シ機動ニヨリ敵ノ二翼ニ向ヒ戦況ノ進展ヲ圖ル等常ニ攻撃ノ弾力性ヲ保持スルヲ要ス

三、遭遇戦

支那軍ト遭遇セル場合ニ於テハ敵情ノ如何ヲ論セス又各個戦闘惹起モ恐レヌ斷乎攻撃ヲ敢行シ以テ先制ヲ占ムルヲ要ス

四、夜間攻撃

素質劣等ナル支那軍ニ對シテハ假令一點ヲ突破スルモ全線ヲ動搖混亂セシメ遂ニ收拾シ能ハサルニ至ラシムルコト尠カラス

第三、防禦

其一、支那軍攻撃ノ特性

1943

一、攻撃目標ヲ住民地ニ選定スルコト多シ

二、包圍、迂回ヲ賞用スルモ正面部隊ト迂回部隊トノ間ニ連繫十分ナラス兵力分散、前後不同、攻撃ノ統制ヲ缺クコト多シ

三、正面一般ニ過廣ニシテ敵ト戦面擴張ヲ競フコト多シ

此際交通線又ハ住民地ニ兵力ヲ偏重シ中間稀薄トナルヲ通常トス

四、通常過大ナル豫備隊ヲ控置シ之ヲ消極的且逐次ニ使用ス

五、攻撃ニ於テモ有力ナル督戦隊ヲ設クルコトアリ

六、砲兵ノ威力大ナラス從テ市街、村落等ニ對スル攻撃力弱シ

七、歩砲ノ協同ハ一般ニ不十分ナリ

八、攻撃前進ハ各部隊區々ニシテ他部隊トノ協同ヲ殆ント顧慮セス防者ノ爲各個撃破ノ好機ヲ與フ

九、接敵ノ手段トシテ降伏ヲ裝ヒ近距離ニ近ツキ遽ニ攻撃前進ニ移ルコトアリ